

ピーナッツ村の夏休み

農村体験モニターツアー

街で暮らすみなさん、こんにちは。

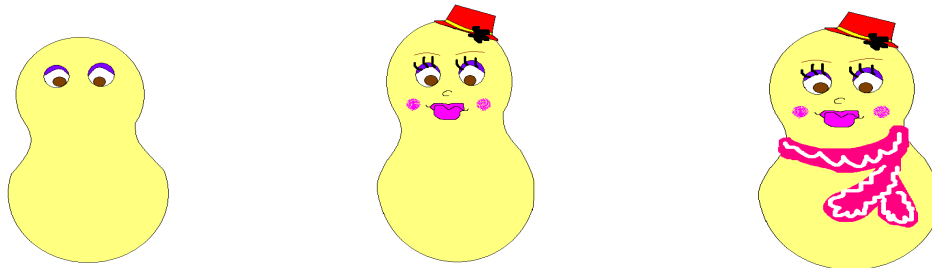
ここは広島市から、高速道路と一般道を走りついで約2時間。県北三次市のなかで一番東にある甲奴町です。人口は3000人弱、小さな商工業者と、小規模な農家が殆ど。有名な観光スポットもなければ、全国に知られるような特産品もなく、典型的な少子高齢化による過疎のまちです。

でも、ここにはオンリーワンがあるのです。それはピーナッツ！「エーッ、ピーナッツなんてどこにでもあるじゃない。」って聞こえてきそうだけど、このまちのピーナッツは、ちょっと違うんです。

話せば長くなりますが、第2次世界大戦中、このまちのお寺の鐘が、軍事品として加工されるために供出されました。けれどそのままの形で残り、アメリカはジョージア州にあるカーターセンターに、日米友好と平和を願い展示されました。そのご縁で、アメリカ第39代大統領、ジミーカーターさんとの交流、ジョージア州アメリカス市との国際交流に発展し、ピーナッツ農場の経営者でもあるカーターさんから、作付け用のピーナッツをプレゼントされたのです。ランナー種という小ぶりですが、とても濃厚な味のナッツ。カーターピーナッツと名づけました。

まちのみんなはこのピーナッツを大切に育て、今では年間約3トンを収穫し、乾燥殻つきピーナッツ、カリントウ、煎餅、ラーメンなどに加工して、特産品として販売しています。けれど特産品として定着するにはもっと収量が必要です。気候の影響を受けやすいし、連作が出来ない。生産者の高齢化、無農薬栽培での労力負担、出荷価格の低さなど、課題山積です。

みなさん、こんなピーナッツ村に元気を運んでくださいませんか。



と、いうわけで
ピーナッツ村で、遊んで、たべて、働いて、元気をください。

ピーナッツ村の夏休み

実行日 2011年 8月21日(日)
 場所 ピーナッツ村(広島県三次市甲奴町)
 主催者 エソール三次のつどい
 (広島女性大学、エソール大学三次地区同窓会)
 後援 NPOいきいき農業応援し隊
 ピースベル甲奴(甲奴町地域女性会)
 甲奴町振興協議会連合会
 まちづくり企画委員会

1日のスケジュール

10:00 開村式(三次市甲奴町旧宇賀小学校集合)
 10:10 ピーナッツ畑の草取りと、ピーナッツ栽培の説明
 11:30 高速道路工事現場見学説明会
 12:00 三次産米粉と野菜のピザ作りと、田舎料理のバイキング
 14:00 町内観光施設案内、意見交換
 15:30 終わりの会
 ※ モニター参加費： ￥1,500- (小学生まで無料)

参加申込書

名前	年齢	住所	連絡電話番号	所属団体名

(申し込み先・セガワ労務管理事務所 FAX082-874-3876)

甲奴町の「農村丸ごと観光化」への思い

広島県北部三次市甲奴町。少子高齢化による過疎の町です。小規模農業、事業所が殆ど、後継者不足も深刻です。

しかし、平成26年の中国横断自動車道尾道松江線甲奴インターチェンジ開通に伴い、農村活性化という希望に向かって、行政、自治組織を中心にプラン作りが活発化しています。まさに今、地域リーダーの一員として、広島女性大学、エソール大学での学びを実践に移すとき。

エソール三次のつどい（広島女性大学、エソール大学の三次市同窓会）、ピースベル甲奴（地域女性会）の女性が、今回の企画実践で地域づくりに取り組みます。いきいき農業応援し隊、広島同窓会、福山同窓会など、各地域で活躍中の女性ネットワークの力で、多くの方々にご参加頂き、都市と田舎の交流の中で、甲奴町を育てていただきたいと思います。

今回モニターとしてご参加いただいた皆様のご意見を集約、分析し、甲奴町振興協議会連合会のまちづくり企画委員会に提出いたします。地元では見えない、大きなヒントを頂けるものと期待いたしております。今回のみならず、農村丸ごと観光化に向けての甲奴町へのご支援のほどよろしくお願いいたします。